

2016/17 Autumn&Winter Bishu Material Exhibition
JAPAN YARN FAIR in Tokyo
開催概要

(1) 名 称 2016/17 Autumn&Winter Bishu Material Exhibition(BME)
(2016/17年秋冬物)
JAPAN YARN FAIR in Tokyo(JYT)

(2) 会 期 平成27年10月14日(水) 13:00-18:00
15日(木) 9:30-18:00
16日(金) 9:30-17:00

(3) 会 場 TEPIA 3F エキシビジョンホール
東京都港区北青山2-8-44
電話 03-5474-6107・6108・6109(展示会場直通・会期中のみ)

(4) 主 催 (公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター

(5) 目 的
<BME>

尾州地域は、世界でも有数の毛織物産地として栄えてきたが、長らくの景気の低迷により縮小を続けてきた。しかしながらクールジャパンやJ∞クオリティーなどの政策により、メイド・イン・ジャパンが見直され、尾州産地の特長を生かした高付加価値のものづくりを一層推進していくことが求められている。従来から試みる海外市場への尾州産素材の発信、販売促進に加え、本展示会では、最新のファッショントレンドをとらえた、付加価値の高い魅力的なものづくりを強みに、回帰基調にある国内市場において、尾州産地の力を結集して販路開拓を目指す。

「オール尾州」で結束したプロジェクトチーム16社が、トレンドコンセプトや消費者ニーズを共有し、それぞれの強みを活かして開発したクオリティーの高い素材を広く発信することで、新規顧客の掘り起こしを図るとともに既存顧客との関係をより強固なものとする。更には、本展示会を通じて、尾州産地全体をアピールし、産地イメージの高揚に努め、出展企業だけでなく産地全体として更なる顧客獲得を目指していく。

<JYT>

毎年2月に一宮市総合体育館で開催している「JAPAN YARN FAIR」は、全国から約50社の糸業者が出展し、会期中には4,000名以上の来場者数を記録するなど、唯一の全国規模の糸の展示商談会として定着している。今回、以前より出展企業からの要望が多かった、東京での展示会開催を企画し、FDCが毎年開催している「Bishu Material Exhibition」の会場内に「JAPAN YARN FAIR in Tokyo」エリアを設けることにより、糸業者10社がブース出展し、商品のアピールや商談を行なう。かねてより、川下事業者のアパレルや小売りに対する糸の情報は不十分であったことから、この展示会を通して、川上企業の情報発信の場を提供し、川上から川下事業者まで意思疎通の機会を創出し、川上事業者はもとより、産地・業界の新たな活路の開拓を支援し、ひいては、ファッション業界全体の振興に寄与することを目指していく。

平成27年9月24日



Bishu Material Exhibition



JAPAN YARN FAIR in Tokyo

NEWS No.1

10月14, 15, 16日、TEPIAで開催

シーズン	2016/17 秋冬
会期	平成27年10月 14日(13:00-18:00)、15日(9:30-18:00)、16日(9:30-17:00)
会場	TEPIA 3階エキシビジョンホール

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター（以下、「FDCC」）は10月14日から3日間、「2016/17秋冬 Bishu Material Exhibition（BME）」を東京都港区北青山のTEPIA3階エキシビジョンホールで開催する。この展示会には尾州産地の素材メーカー16社が参加、2016/17年秋冬物の新作約1,650点の生地を出展。中央のインデックスコーナーでは、FDCCが提携しているパリのトレンド発信企業のネリーロディ社の情報を基に出展企業が開発した生地約170点とガーメント（製品）16点を3テーマに分けて展示する。

「Bishu Material Exhibition」としては今回が11回目、前身のジョイント・尾州（JB）東京展を含めると24回目を数え、会場を港区北青山のTEPIAに移して4回目の展示会となる。

出展各社の主力素材は別表のとおり多種多様で、各企業がそれぞれの強みを活かしたラインナップとなっている。全体としては、アイテムでは紡毛を使ったコート素材、素材ではウールや獣毛、それらの複合素材が中心となっている。

また、出展各社に対して事前に実施したアンケートでは、同シーズンに対する販売計画（前年同シーズン金額比）は横ばいが5社、プラスが10社となっており、平均すると約15%のプラスとなった。中にはツイードが見直されることに期待したいとの声や、レディース強化を目標にしたいとの声などが聞こえた。

今回の展示会ではBMEの他に、「JAPAN YARN FAIR in Tokyo（JYT）」を併催する。毎年2月に一宮市総合体育館で開催している日本唯一の全国規模の

糸の展示商談会である「JAPAN YARN FAIR」を初めて東京で開催するものである。JYTには全国から糸業者10社が参加、別表の主力素材を中心に商品のアピールや商談を行う。これまでの一宮市開催とは異なり、東京での開催ということで、アパレル・小売といった、これまであまり接点のない企業の来場が見込まれることから、新規顧客の獲得に期待する声が多く寄せられている。

<参考>

○前回春夏展3日間の来場者数1,648名

アパレル	660名	40.0%
小売	74名	4.5%
商社・服地卸	680名	41.3%
その他	234名	14.2%

<本資料のお問い合わせ>

(公財) 一宮地場産業ファッションデザインセンター

電話 : 0586-46-1361

: 03-5474-6107 (会期中)

No.	企業名	主力素材	PR
1	岩田健毛織(株) (岐阜県)	高品質梳毛ウールのバリエーション	Bishuらしいテキスタイルの提案。
		良質紡毛のクオリティ	
		TOP糸シリーズ・ファンシー素材	
2	鈴憲毛織(株) (一宮市)	ブルガリアンハイランドウール	オリジナル開発原料「ブルガリアンハイランドウール」 温かく、軽い梳毛素材で、セットアップアイテムからコート、 ジャケットなど、日本の整理加工技術を生かした仕上げに 拘りバリエーション展開しています。
		Polyester/Rayon Stretch	
		様々な素材によるジャカードのバリエーション	
3	(株)ノージェイテック (岐阜県)	ウール ナイロン NEW TOUCH ニット バリエーション	新規糸を多く取り入れ、アウター用途からインナー素材ま で新しい風合いを提案します。ジャカードや配色でデザイ ン要素をプラス。
		カシミア混 ハイエンド ジャージー	
		紡毛 ドビー 加工バリエーション	
4	長大(株) (一宮市)	梳毛スーパー140'S チェックリバーシブル	エンドユーザーが何年も着られる物を追及！
		梳毛スーパー140'S デニム	
		紡毛スーパー120'S デニム	
5	中伝毛織(株) (一宮市)	ウールを主軸とした多種多様な素材	ウール原料の高騰により、一層きびしい時代ではありますが が、新規糸の開発、糸染→織→整理加工の一貫生産体制 により、お客様の様々なニーズに応えられる様、より一層 の企業努力を惜しみません。
		長短複合や、天然と合成繊維などのハイブリット素材	
		カラミ、ヨコ編みなど、織物と、ニットの中間的な素材	
6	西川毛織(株) (名古屋市)	スーパーファインウール素材	カシミア混、スーパーファインウール等の高級素材、二重 織のテクニックを使ったボリューム感のあるコート素材、梳 毛から紡毛まで織物からニット素材まで幅広く提案しま す。
		スペイン羊毛の獣毛メルトン、スーパー120'S混のパイルカ ット二重織	
		織り組織によって表面感を出した素材	
7	日本エース(株) (一宮市)	異素材リバーシブル	最新のファッションに対し、最も美しいシルエットに合わせ たテキスタイルを提供します。
		セミアンシー	
		ニューツイード	
8	林実業(株) (一宮市)	カラミ織素材	オリジナルの意匠糸を使った表面感やふくらみ感のあるフ アンシーツイードを中心に提案します。
		ファンシーツイード素材	
		トリスピン糸使いのふくらみのある素材	
9	(株)ヒラノ (一宮市)	花柄、幾何柄などのジャカードフクレ織。非ウール、ウール 混でのワッシャー、起毛等	複合糸とウール(梳毛、紡毛)の交織素材～スーパー100 以上のコート地、織物とジャカード等、また織糸を使用した シンカー～ダブルニットまで企画、生産しています。尾州で 弊社は高速織機9台(月/600反)を設備し自社生産する事 で多様な素材にもチャレンジしています。
		複合糸と紡毛の二重織ツイード等	
		アドリアーナーループ使いのニットジャカードでグラデーショ ン、グレンチェック等の圧縮、起毛、ワッシャー等	
10	ファインテキスタイル (株) (岐阜県)	異素材を交織した凹凸感を表現	多彩なTOPカラー別注糸を生かした、深みのあるカラーの 素材を豊富なバリエーションで取り揃えております。もちろ ん、各色在庫を準備していますので、クイックな見本対応 をいたします。
		大胆な柄物	
		二重織り、二重編み	
11	三星毛糸(株) (岐阜県)	メルトンをメインとするアウター素材	メルトン素材を中心とするコート素材のバリエーションの提 案。
		カシミア混ダブルフェイス	
		圧縮ニット	

No.	企業名	主力素材	PR
12	みづほ興業(株) (一宮市)	Re・Born 弾	自社オリジナル加工<Re・Born>を中心とした商品提案をします。
		Re・Born シリーズ	
		W/Cu ジャカード織り	
13	宮田毛織工業(株) (一宮市)	ウール 100%及びウール混 TOP 展開	8 ゲージから 40 ゲージまで多種多様な編機を背景に他社にはない幅広い商品構成と、BISHU(紡績・染色整理)にこだわった物作りで秋冬物を提案致します。
		ローゲージによるアウター向け素材	
		ウールとの複合素材	
14	虫文毛織(株) (一宮市)	スーパー100、スーパー140 のコート地	レギュラー紡毛糸を使用したツイード、コート素材から原料の良いスーパー100、スーパー140 の柔らかくて軽いコートを提案します。
		サッカー素材	
		ウェーブ起毛、デザイン起毛	
15	森織物(資) (一宮市)	カシミア混紡毛	カシミア混・モヘア混の紡毛糸使いの素材を中心に展出します。
		モヘア混紡毛	
		細番ポリエステル/レーヨン混紡	
16	渡六毛織(株) (岐阜県)	タテキュブラツイード	自社織機を使ったオリジナルテキスタイルを提案します。
		ファンシーツイード	
		スーリアルパカシャギー	

JYT

No.	企業名	主力素材	PR
1	クラウン工業(株) (京都府)	ファンタジアマット	ラメ糸の事はお任せください。織物、ニットとあらゆるシーンであなたのご希望を満足させます。カタログ色常時在庫 560 色！！
		マットモール	
		レピス	
2	近藤(株) (一宮市)	PY ウール 1/60 WOOL55% POLYESTER45%	KONDOのファンシーヤーンならではのオリジナリティ、ほかのどこにもない独自性が光る商品。企画力、創造力、開発力がそれを可能に。
		ヴォーチェ 1/50 RAYON60% WOOL15% NYLON25%	
		ジュピター 1/60 ACETATE70% NYLON30%	
3	佐藤繊維(株) (山形県)	2/60、2/60"ZEATER"極上ファインメリノ 100%棧能性を併せ持ちます。	衣料素材全般を提案します。今回は18G対応の天然素材が目です。紡績業、ニット製品自社工場国内生産、小売業にも注力しています。
		2/21"Cotswolds"英国羊毛 50%ブレンドの Book 展開、ハード糸&ボリュウム梳毛糸	
		2/32、2/48"Rosario"動物繊維で一番のクランプ性の強いチブ一種がベースの Book 展開糸	
4	三幸毛糸紡績(株) (名古屋市)	モヘア・アルパカ英国、南米羊毛の特徴を活かした糸	モヘア、アルパカを中心とした紡績ファンシーで、横編ジャージーから織物まで対応できる糸を提案致します。
		英式梳毛糸からファンシーヤーン	
		独自開発の染色技術を駆使したグラデーション糸	

No.	企業名	主力素材	PR
5	株式会社 滝善 (一宮市)	品名:ミギー 番手:1/16.7 混率:指定外繊維(美濃和紙) 35% 綿:50% ポリエステル 15%	クラシックからファンシーまでファッショントレンドを追求した糸を幅広く提案します。カラーストック素材を豊富に取り揃えています。
		品名:モンテカルロ 番手:1/60 混率:アセテート 80% ナイロン 20%	
		品名:タニー 番手:1/15,1/7.6,1/3.7 混率:バルキーアクリル 60% ウール 40%	
6	茶久染色株式会社 (一宮市) & 浅野燃糸株式会社 (岐阜県)	世界初の超膨化糸(膨化率 163%)特殊糊付け燃糸加工糸「SUPER ZERO 425」(特許取得)本邦初公開	あのタオルで大ヒットした「エアーカーおる」の進化版で昨年10月に特許を取得した特殊複合燃糸「スーパーゼロ 425」の衣料分野へのご提案としてニット、布帛商品を展示します。
		「SUPER ZERO 425」を使用した織り編み物 20 点本邦初公開	
		「SUPER ZERO 425」を使用した最高級ブランドタオル「VOGA」の公開	
7	豊島株式会社 (一宮市)	Orgabits®	世界の優良産地から厳選した高品質なオーガニックコットンを使用した Orgabits®と、ふくらみ/バルキー性のある南米産羊毛を使用した Windmill Wool を提案します。
		Windmill Wool	
8	株式会社長谷川商店 (一宮市)	セイカ(シルクモヘヤタム) 1/6NM 1/12NM 1/24NM 1/40NM 色展開しています。	シルクの他に、カシミア、ウール、リネン、コットンの天然繊維をメインとした糸から最終製品までのご提案を致します。色糸のストック販売から多様な意匠糸も提案します。
		綿ギマ 1/3.5NM 1/5.6NM 1/13NM 色ストック販売しています。	
		ゼン・ボン(絹紡糸メランジ・糸染め) 2/60NM 2/120NM 2/240 77 色ストック販売	
9	深喜毛織株式会社 (大阪府)	スーパージー(ニュージーウール)	カシミアなどの獣毛や、ファインウールなどをBOOK展開しています。それらの糸を使用した織物やジャージ等も提案します。
		ウルグアイハイブリット	
		ピュアネスカシミア 26 番	
10	モリリン株式会社 (一宮市)	POLKA (ポルカ)	POLKA (ポルカ):こだわりの紡績手法で”キュブラ”を複合した上質な T/R 素材。
		neo Linen (ネオリネン)	neo Linen (ネオリネン):フレンチリネンと特殊断面(十字)ポリエステルをブレンドした機能リネン素材。
		軽技(カルワザ)	軽技(カルワザ):ポリウム感があって、柔らかく、暖かくて、軽い糸。

平成27年10月20日

 **Bishu Material Exhibition**
JAPAN YARN FAIR in Tokyo

NEWS No. 5(最終)

1社平均1,055点のサンプルリクエスト

シーズン	2016 秋冬
会 期	平成27年10月 14日(13:00-18:00)、15日(9:30-18:00)、16日(9:30-17:00)
会 場	TEPIA 3Fエキシビジョンホール

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター(以下、「FDC」)は10月14日から16日までの3日間、「2016/17 Autumn & Winter Bishu Material Exhibition(以下、「BME」)&JAPAN YARN FAIR in Tokyo(以下、「JYT」)」を東京都港区北青山のTEPIAで開催した。11回目となる今回のBMEには尾州産地のテキスタイルメーカー16社が参加し、1,650点の新作とFDCが提携しているネリーロディ社のトレンド情報を基に製作した開発素材186点を展示して商談を進めた。また、今回は新しい試みとして、JYTを開催した。これは、毎年2月に一宮市で開催している「JAPAN YARN FAIR」を東京にて開催したもので、全国から糸業者10社が出展をした。その結果、会期中の来場者は2,279名となり、これまでの最多であった前回春夏展の来場者1,648名を大幅に上回り、最多記録を更新した。またBME16社の合計サンプルリクエスト点数は16,878点で、過去最多となる前回秋冬展(1年前)の16,961点を下回ったが、社数では2,384社となり、前回秋冬展の2,309社を上回った。

来場者内訳では小売の来場者数が123名となり、割合も5.4%と過去2番目に高い。アパレルの36.4%と合計で41.8%となり、商社・問屋の44.4%に迫るものとなった。この増加の理由については、BMEがJYTと併催されたことにより、糸からの差別化を図りたいアパレル・小売企業が来場したためと考えられる。また、開催時期が10月中旬ということで、来A/Wの企画を考えるタイミングにマッチしたことも挙げられる。来場者からは、BMEとJYTの併催による効率の高さに関する意見も多く寄せられ、JYTの併催は一定の効果があったものと考えられる。

BMEのサンプルリクエスト数は3日間で延べ2,363社から16,878点に達し、出展企業1社平均では149社から1,055点となった。素材ではウールやカシミアなど、カラーでは茶系やネイビー、またレッドやグリーンなど、風合いはよりソフトになり、起毛や凸凹など表面変化があるもので、より高品質な素材に多く関心が寄せられ、用途としてはコート・ジャケット向けが多かった。

来場者の業種別内訳や来場者を対象にしたアンケート結果は次ページ以降の通り。

主催者のFDCは会期中に来場者アンケートを実施（回答数 667 回収率 29.3%）。結果は以下の通り。（3日間計：確報値）

<来場目的>

トレンド把握	53.6%
商談	36.9%
BME	3.0%
JYT	1.8%
その他	4.7%

<BME 関心素材>

あった	90.1%
なかった	9.9%

<BME 商談>

あった	60.7%
なかった	39.3%

<尾州産地展への来場回数>

初めて	25.2%
2-5回目	36.8%
6-10回目	19.9%
11回目以上	18.1%

<BME サンプル請求>

会場で請求した	56.2%
後から請求する	24.4%
しない	19.4%

<来場契機>

FDCのDM	41.7%
出展企業のDM	44.9%
新聞記事	1.4%
新聞広告	0.7%
ホームページ	0.8%
FDCのFacebook	0.3%
SNS	1.4%
その他	8.8%

<JYT 商談>

あった	40.4%
なかった	59.6%

<JYT サンプル請求>

会場で請求した	32.1%
後から請求する	25.1%
しない	42.8%

【以下、展示会各種数値】

<第11回 2016/17 AW BME&JYT の来場者の内訳>

	アパレル	小売	商社・問屋	その他	計
1日目	201名	42名	243名	81名	567名
2日目	329名	32名	470名	127名	958名
3日目	299名	49名	300名	106名	754名
計	829名 (36.4%)	123名 (5.4%)	1,013名 (44.4%)	314名 (13.8%)	2,279名 (100.0%)

(参考) 過去の来場者内訳 (カッコ内は構成比)

	アパレル	小売	商社・問屋	その他	計
第1回(AW)	520名(38.7%)	41名(3.0%)	576名(42.8%)	208名(15.5%)	1,345名
第2回(SS)	391名(35.4%)	52名(4.7%)	527名(47.8%)	134名(12.1%)	1,104名
第3回(AW)	451名(35.3%)	64名(5.0%)	562名(43.9%)	202名(15.8%)	1,279名
第4回(SS)	520名(40.1%)	85名(6.5%)	512名(39.5%)	181名(13.9%)	1,298名
第5回(AW)	452名(32.5%)	64名(4.6%)	646名(46.4%)	230名(16.5%)	1,392名
第6回(SS)	508名(36.2%)	60名(4.3%)	624名(44.5%)	211名(15.0%)	1,403名
第7回(AW)	575名(35.9%)	69名(4.3%)	718名(44.8%)	241名(15.0%)	1,603名
第8回(SS)	525名(33.5%)	67名(4.3%)	768名(49.0%)	206名(13.2%)	1,566名
第9回(AW)	609名(37.5%)	61名(3.8%)	731名(44.9%)	225名(13.8%)	1,626名
第10回(SS)	660名(40.0%)	74名(4.5%)	680名(41.3%)	234名(14.2%)	1,648名

<第11回 BME のサンプルリクエスト状況>

	アパレル		小売		商社・問屋		その他		計	
	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数
1日目	223	1,507	9	43	292	1,916	10	79	534	3,545
2日目	402	2,868	23	149	560	4,211	15	112	1,000	7,340
3日目	428	3,080	52	390	369	2,511	1	12	850	5,993
計	1,053	7,455	84	582	1,221	8,638	26	203	2,384	16,878

(参考) 過去のサンプルリクエスト (SR) 数推移

AW	出展者数	来場者数	SR数	SS	出展者数	来場者数	SR数
第1回	21社	1,345名	14,021点	第2回	19社	1,104名	8,967点
第3回	17社	1,279名	11,495点	第4回	15社	1,298名	10,110点
第5回	16社	1,392名	11,090点	第6回	16社	1,403名	11,190点
第7回	16社	1,603名	15,010点	第8回	15社	1,566名	14,356点
第9回	15社	1,626名	16,961点	第10回	15社	1,648名	15,999点

<JYT のサンプルリクエスト状況>

	アパレル		小売		商社・問屋		その他		計	
	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数
1日目	173	278	52	73	59	77	22	12	306	440
2日目	169	384	32	98	73	83	17	29	291	594
3日目	149	377	24	55	101	153	9	66	283	651
計	491	1,039	108	226	233	313	48	107	880	1,685

この件に対するお問い合わせはFDCまで。(0586-46-1361)